

サステナビリティへの取り組み

当行では、サステナビリティの視点を銀行経営に積極的に採り入れ、「武蔵野銀行SDGs宣言」や「サステナビリティ基本方針」のもとステークホルダーの皆さまと手を携えながら、持続可能な地域社会の実現に向け取り組んでいます。

武蔵野銀行SDGs宣言

SDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取り組むことを宣言します。

「持続的成長の源泉としての企業統治」
企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。



「持続可能な地域経済」
地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。



「いつまでも自分らしく暮らせる地域社会」
全ての人々が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取り組みを行います。



「気候変動への対応と生物多様性の維持向上」
地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取り組めます。



サステナビリティ基本方針等

気候変動や人権といったグローバルな課題や国内外の金融経済における脱炭素の動きに対応するとともに、より実効性のあるサステナビリティ経営の実践を目指していきます。

サステナビリティ基本方針

環境方針

投融资方針

人権方針

気候変動への対応 TCFD提言への取り組み



気候変動への取り組みを重要な経営課題と位置づけ、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言を踏まえたガバナンスおよびリスク管理体制の構築や気候変動がもたらす機会とリスクの把握に努めています。また、サステナブルファイナンスおよび温室効果ガス排出量削減に関する目標を定め開示しています。

サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化等に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。

温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指しています。

お客様のサステナビリティ経営を後押しする商品ラインナップ

地元企業の皆さまのサステナビリティ経営を後押しするため、一社一社の取組状況などに応じたファイナンスおよびコンサルティング商品のラインナップを拡充しています。

ファイナンス商品

SDGs私募債

サステナビリティ・リンク・ローン

SDGsフレンズローン

サステナビリティ・フレームワーク・ローン

優良企業サステナブルファンド

コンサルティング商品

SDGsコンサルティング

SDGs診断サポート

脱炭素コンサルティング

「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」による支援事例

「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」(以下、SLL)は、お客様がSDGsやESGに関連する事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)を設定し、その達成状況に応じ金利などの条件が変動する仕組みの融資商品です。

当行では2023年8月、1952年創業の総合粉末冶金メーカー「ポーライト株式会社」に対し、SLLを取扱いました。ポーライト株式会社では、CO₂排出が殆どないクリーンな燃料電池として注目されている定置型燃料電池の基幹部品「セパレータ」の販売数量を目標に設定し、その供給拡大を通じて脱炭素社会の実現に貢献していくことを目指しています。



定置型燃料電池
(同社自社工場で使用しているもの)

TOPICS 電気自動車「SAKURA」を導入

2023年11月、日産自動車の「SAKURA」を営業用車両として導入しました。今後についても電気自動車への入替を順次進めていく予定です。



持続可能な住まいづくりを応援 -サステナブル住宅応援プラン-

環境配慮型住宅を購入・新築されるお客様向けの住宅ローンプランを提供しています。

- ・ZEH水準を有する住宅
- ・低炭素建築物認定制度に適合する住宅
- ・住宅用太陽光発電が設置されている住宅 など



詳しくは
こちらから